資料１

第２回総合計画進行管理部会における主な意見について

〔日時〕　８月３０日（月）10:00 ～ 16:30
〔場所〕　本庁舎５階　正庁

１．地域に根ざした力強い産業の育成【活力－１】

①　産業の集積（クラスター集積）については、なぜ企業が進出したのか、集積している理由を十分に分析する必要がある。また、本県の産業クラスターについてイメージしやすくして、県内外にアピールする必要がある。

②　知的財産については出願件数が問題ではない。研究・開発により特許を取ることも大切だが、既存の特許を利用する方が効率的で重要であり、既存の未利用知的財産の有効活用に力を入れる方が産業振興につながると思う。

２．生涯を通じた健康づくりの展開【安全・安心－１】

①　受診率を上げることよりも、生活習慣病を減らすことが重要であり、そのための対策を考えてほしい。

②　介護予防事業への参加が十分でないのは、意識や関心が低いためとしているが、意識や関心はあっても、具体的にはやっていない、既存のサービスとマッチングしていないということもあると思う。

③　福祉や医療は、基本的に市町村が実施するのが原則であり、市町村と県の役割分担を整理し、県はどのように支援するのか、支援方法を精査すべきである。

３．力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応【人と地域－２】

①　今後の取組みの方向性で「国の施策の動向を見極めつつ・・・」とあるが、地域づくりを推進するという中で、この表現はなじまないと思う。

②　県と市町村が対等な立場で、互いがやるべき仕事について話し合う場が必要だと思う。

全体を通じて

① 様式３から様式４に反映するときに、そのシナリオがあった方がよい。各細項目が立体的に組み合わさっていると思うので、様式４は様式３の項目を組み合わせた表現とした方がよい。

② 平成２１年度の主な実績・成果について、成果が記載されていない。実績と成果を区別して記載してほしい。成果がはっきりすれば、課題と方向性も見えてくるのではないか。

③ 課題をどうフォローアップするか、次の施策展開にどうつなげていくかを考えたときに、数値的な実績だけでなく、その背景にある現象を分析することが重要であり、今後重点的に取り組んでほしい。